**令和７年度**

**社会福祉法人会計実務通信講座**

【6月度課題】

科目及び残高からの貸借対照表作成

支払資金と純資産の計算

計算書類（貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書）間の関係性

学修範囲：　テキストpp.3-46

解答上の注意

解答用紙の1枚目に学籍番号・氏名、2枚目以降は学籍番号を必ず記載してください。

**問題１**

次の文章の空欄にあてはまる適切な語句を下に示す語群の中から選んで答えなさい。

（１） 資金収支計算書は、期間中の、社会福祉法人の全ての（　ア　）の増加及び減少の状況を明らかにしたものである。

（２） 流動資産は短期的な支払手段であり、流動負債は短期的に支払う必要のあるものであるため、「流動資産－流動負債」は、その法人の（　イ　）を示していると考えることができる。

（３）　社会福祉法人は、その収益を社会福祉事業若しくは公益事業の経営に充てることを目的とする事業を行うことができるが、その会計処理は（　ウ　）に従う。

（４）社会福祉法人が存続・成長を続けていくためには（　エ　）を保持し増やす必要がある。当期における収益合計と費用合計との差額を（　オ　）といい、事業活動計算書の（　オ　）は、

貸借対照表の（　エ　）増加額と一致する。

（５）会計基準には細かな処理方法が規定されていないため、自法人の状況に応じた具体的な会計処理について（　カ　）を整備する必要がある。なお、（　カ　）は国の法令とは関係なく、法人において自由に規定することが（　キ　）。

（６）毎年の償却額が定額となる減価償却方法を（　ク　）という。

支払資金　　　　　　　純資産　　　　　　　　資本　　　　　　　支払能力

できる　　　　できない　　　　　定款　　　　　経理規程　　　　　基本財産

厚生労働省令で定める基準　　　　一般に公正妥当と認められる企業会計の基準

当期資金収支差額　　　　当期活動増減差額　　　　定額法　　　　定率法

**問題２**

（１）次の科目及びその残高から解答用紙の要約貸借対照表を完成させなさい。

130

75

10

200

2,000

2,650

280

1,045

 105）

820

650

390

現金預金　　　　　　　 　　　　　　　事業未収金

設備資金借入金　　　　　　　　　　　　　　　　　事業未払金

（うち1 年以内返済予定設備資金借入金　　　　　　　　　貯蔵品

建物（基本財産）　　　　　　　　　　　　　　　　　国庫補助金等特別積立金

建物（その他の固定資産）　　　　　　　　　　　土地（基本財産）

器具及び備品　　　　　　　　　 　　基本金

　　　貯蔵品

（２）上記（１）において、支払資金の残高を求めなさい。

**問題３**

（１）次の①～⑤の取引によって貸借対照表はどのように変動するか、解答用紙の各B/Sに「流動資産」「固定資産」「流動負債」「固定負債」「純資産」各合計額を記入しなさい。

　　　　　　　　取引前B/S

|  |  |
| --- | --- |
| 流動資産2,500 | 流動負債800 |
| 固定負債3,000 |
| 固定資産3,500 |
| 純資産2,200 |

取引①　未収計上していた介護報酬500が入金された。

取引②　取引①の後、給食用の食材80を購入（即日消費）し、代金は翌月末の支払とした。

取引③　取引②の後、設備資金借入金100を返済した。なお、流動負債に1年以内返済予定

設備資金借入金として計上している残高はない。

取引④　取引③の後、パソコン40（固定資産に該当）を購入し、代金は現金で支払った。

取引⑤　取引④の後、利用者のご家族から経常経費に対する寄附金10が入金された。

（２）取引①から取引⑤によって、純資産及び支払資金がどのように移動するか、解答用紙に記入しなさい。変動が無い場合は「－」を記入すること。

（３）取引**前**B/Sと取引⑤後B/Sとを比較し、純資産及び支払資金の残高がいくら動いたか、解答用紙に記入しなさい。

**問題４**

次の期首要約貸借対照表及び期中取引から、期中取引がどの計算書類に影響するかを記入し、期末要約貸借対照表、当期の事業活動計算書と資金収支計算書を作成しなさい。

**期首要約貸借対照表**

|  |  |
| --- | --- |
| 流動資産2,400 | 流動負債300 |
| 固定負債3,000 |
| 固定資産3,100 |
| 純資産2,200 |

支払資金＝2,100（流動資産、流動負債は全て支払資金に該当するとする）

**期中取引**（取引を見ながら、解答欄の（A）欄を記入し、その後（B）欄、（C）欄に記入すること）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | （A）貸借対照表 | （B）事業活動 | （C）資金収支 |
| 流動資産 | 固定資産 | 流動負債 | 固定負債 | 純資産増減 | 支払資金増減 |
| ① | 介護保険報酬800を事業未収金に計上した | ＋ | ― | ― | ― | ＋ | ＋ |
| ② | 注文した消耗品30が納品され、支払いは翌月とした | ― | ― | ＋ | ― | △ | △ |
| ③ | 未払計上していた水道代40を現金で支払った | △ | ― | △ | ― | ― | ― |
| ④ | パソコン（固定資産）100を購入し現金で支払った | △ | ＋ | ― | ― | ― | △ |
| ⑤ | 給料300を現金で支給した | △ | ― | ― | ― | △ | △ |
| ⑥ | 建物に係る減価償却20を計上した。 | ― | △ | ― | ― | △ | ― |
| ⑦ | 設備資金借入金200を返済した | △ | ― | ― | △ | ― | △ |
| ⑧ | 当座預金を100引き出し手元現金とした | ― | ― | ― | ― | ― | ― |
| 計 |  |  |  |  |  |  |

以上、問題ここまでになります